

お知らせ



ご意見・ご感想をお寄せください
●山形県しあわせ子育て応援部女性・若者活躍推進課
☎ 023-630-2694 FAX 023-632-8238

毎月第3日曜は「家庭の日」

子育てにおいて家庭が果たす役割は大変重要です。そこで、家族のきずなを大切にす日として、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、併せて月別の取組みテーマを提案しています。

【月別テーマ】

- 12月「家族みんなで協力して、仕事を分担して助け合う」
- 1月「新しい年を迎え、一年の計画をたてる」
- 2月「寒さに負けない心と体をつくる」
- 3月「学期の節目を迎え、一年間の子どもの成長を祝う」

山形県青少年育成県民会議の活動にご理解とご協力をお願いします。

令和4年度山形県青少年育成県民会議総会

5月27日(金)、県庁講堂で今年度総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、参加方法を現地又はオンライン参加、議案の書面決議から選べるハイブリッド開催とし、合計398名が参加しました。

令和4年度の活動方針、事業計画などについて協議し、議案はすべて原案通り承認。また、役員改選により、新たに佐藤俊一氏(山形大学エンrollment・マネジメント部教授)が会長に選出されました。



令和4年度「明るいやまがた、夏の安全県民運動」出発式

7月22日(金)～8月21日(日)の期間で当県民運動が展開され、初日の7月22日に県庁講堂で出発式を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、規模を縮小して開催。平山副知事のあいさつと運動実践者の皆さんによる「安全宣言」の後、県警音楽隊による演奏とカラーガードの演技と共に、県庁前駐車場で車列の見送りをしました。この出発式を皮切りに、県内各地域において、交通、防犯、青少年育成など各方面の皆様のご協力のもと、様々な取組みが実施されました。



第61回山形県少年の主張大会

中学生の皆さんが、自らの体験を通して日頃抱えている思いや意見を発表する大会が、9月25日(日)に山形国際交流プラザ(山形ビッグウイング)で開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら実施し、地区予選、ブロック予選を勝ち抜いた県内4地区の代表15名が出場。約100名の観衆の前で、堂々とした主張発表を行いました。審査の結果、「伝えゆく戦争の痕跡」と題して発表した渡部香子さん(鶴岡市立榊引中学校3年)が最優秀に選ばれました。



「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の広報・啓発

10月23日(日)NDソフトスタジアム山形で開催されたモンテディオ山形ホーム戦において、広報・啓発活動を実施しました。

「児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン」と連携して実施。ブースでのノベルティ配布や、ハーフタイムにピッチを周回し、今年で10年目となる「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動と「家庭の日」の広報のぼり旗で活動のPRを行いました。



見守る目・育む芽 47

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動 10年目

山形県では、平成25年度から“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動を展開しており、今年度で10年目となります。

<運動の基本方針>

- 学校、家庭、地域が連携し、みんなでいじめ・非行を許さない社会づくりをすすめていこう。
- いじめを受けて悩んでいる子どもたちが相談しやすい環境をつくっていこう。

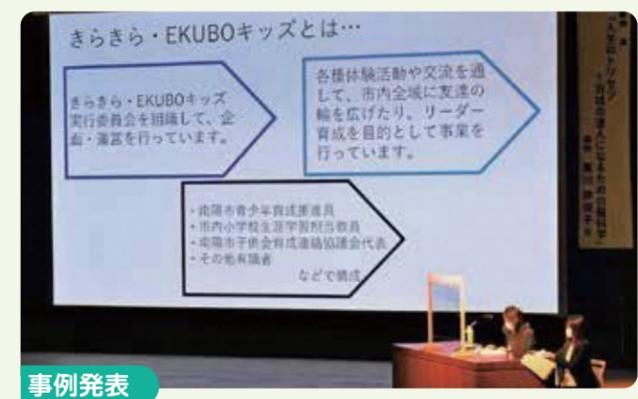


- P1 いじめ・非行防止セミナー
- P2 いじめ・非行防止セミナー発表者インタビュー&県民大会レポート
- P3 令和4年度「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の取組み
- P4 県民会議の取組み

いじめ・非行防止セミナー

10月30日に長井市民文化会館で開催された令和4年度山形県青少年健全育成県民大会内で「いじめ・非行防止セミナー」が同時開催されました。

セミナーでは、第61回山形県少年の主張大会で最優秀を受賞した渡部香子さんによる主張発表のビデオ上映、南陽市青少年育成推進委員会の江口ひろみ副会長による事例発表、「妻のトリセツ」(講談社+α新書)などの累計発行90万部以上を誇るトリセツシリーズで知られ、人工知能研究者でもある黒川伊保子氏による講演を行いました。



事例発表

「南陽市の青少年健全育成に関する活動について」

南陽市青少年育成推進委員会 副会長 江口ひろみ氏

事例発表では、南陽市青少年育成推進委員会や子供会育成会メンバーなどが中心となって、子ども達の体験学習などを行う「きらきら・EKUBOキッズ」事業について紹介がありました。体験活動を通じて地元の良さを再発見してもらう当事業には、参加児童OB・OGなどが指導者側としてボランティア参加するサポータークラブもあり、未来の担うリーダーの育成にもつながっていると説明する江口さん。今後も子ども達の将来にとって、手助けになるような活動を続けていきたいと締めくくりました。

プログラム

- 少年の主張発表(ビデオ上映)
「伝えゆく戦争の痕跡」
鶴岡市立榊引中学校3年 渡部 香子 さん
- 事例発表
「南陽市の青少年健全育成に関する活動について」
南陽市青少年育成推進委員会 副会長 江口 ひろみ 氏
- 講演
「人生のトリセツ ～対話の達人になるための脳科学」
講師 (株)感性リサーチ 代表取締役 黒川 伊保子 氏



講演

「人生のトリセツ ～対話の達人になるための脳科学」

(株)感性リサーチ 代表取締役 黒川伊保子氏

ヒトと人工知能の対話研究を進める立場の黒川氏は講演で、この世の対話は大きく分けて2種類、「問題解決型」と「共感型」があると提唱。それぞれの特性と傾向を踏まえ、ちょっとした気遣いでコミュニケーションを円滑にする“対話の奥義”について、独自の論点で展開しました。「頭ごなしの否定は発想力を奪う。リアル会話でも『いいね』を使おう!」など安心して話せる環境が何より社会に必要ということ。実体験とユーモアを交えた講演に、参加者からは「今日からすぐに実践したい」との言葉もあがりました。

山形県青少年育成県民会議入会のお願い

当会議では、次世代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう、やまがた県民運動」を展開しています。活動や趣旨にご賛同、ご協力いただける新規会員の方を募集しております。機関誌をご覧ください。皆様から、ぜひお声がけをお願いいたします。

☆現在の会員数(1,311人) 令和4年10月末現在
会員の皆様には会報をお送りするとともに特別会員は会報及び総会資料に、賛助会員は総会資料にお名前を掲載させていただきます。

☆会員の種類と会費	
・特別会員(103万円)	・賛助会員(105千円)
・団体会員(101千円)	・個人会員(101千円)

- 【特別会員】 敬称省略・順不同
- ・全国農業協同組合連合会山形県本部
 - ・全国共済農業協同組合連合会山形県本部
 - ・一般社団法人山形県建設業協会
 - ・山形放送株式会社
 - ・高橋畜産食肉株式会社
 - ・出羽三山神社
 - ・株式会社グローバルマシーン

問合せ・申込み先
山形県青少年育成県民会議事務局
(県女性・若者活躍推進課内)
TEL: 023-630-2727
FAX: 023-632-8238



いじめ・非行防止セミナー発表者インタビュー

少年の主張発表

鶴岡市立榊引中学校3年
わたなべ こうこ
渡部 香子さん



Q どんな気持ちでこの主張に臨みましたか。

学校での平和学習を経て、地域の戦没者追悼式に参加しないかというお話をいただき、その経験から、私の知る戦争の痕跡をより多くの人に伝えたいという強い気持ちが生まれました。

私は、曾祖父が軍人であったことや、祖父が幼いころ満州国に置いて行かれたことなどの話を家族から聞いていました。「身の回りの戦争の痕跡を知るとは、戦争が許されるものではないという、すべての人々の心の根底にある気持ちを引き出す力がある。だから、私たち若い世代こそ戦争の痕跡に触れ、そして、次へ伝えてほしい」。そう思い、この主張に臨みました。

主張大会当日は、同じ中学生の様々な気持ちを知ることができ、考えの幅が広がりました。このような貴重な経験をさせていただいたことにとっても感謝しています。これからも自分の気持ちを大切に、自分の言葉で伝えられる人になりたいです。

※第61回山形県少年の主張大会における発表者15名の主張については、県内4地区の教育事務所にて、DVDの貸出を行っております。

事例発表者

南陽市青少年育成推進員会
副会長
えぐち ひろみ
江口 ひろみ氏



Q 活動を通して、感じていることを教えてください。

南陽市青少年育成推進員として、青少年の健全育成や地域の見守りをしています。南陽市では、市民会議メンバーなどが中心となり、独自の活動として小学生を対象とした体験事業「きらきら・EKUBO キッズ」を展開しています。この事業はさまざまな体験を通して子どもたちの交友関係の輪を広げたり、将来のリーダー育成を目的に運営しています。

これまでの活動では、子どもたちが普段利用する機会の少ない「山形鉄道フラワー長井線」に乗り、沿線や車両基地を見学するなど、地域社会と子ども達がふれあう機会を創出してきました。

「楽しかった!」「また参加したい!」という子どもたちの声は、運営する私たちにとっても大きな励みになっています。今後は、現在の事業を継続して行い、子どもたちにたくさんの経験をさせてあげたいと考えています。また、異年齢や地域の方々との交流機会を大切にして、地域に根差した人材を引き続き育てていきたいと思っております。

令和4年度山形県青少年健全育成県民大会

10月30日(日)、令和4年度山形県青少年健全育成県民大会が長井市民文化会館で開催され、約250名が参加しました。新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、参集規模を縮小しての開催となりましたが、大会宣言や青少年の健全育成に貢献された13個人と2団体の表彰、今年度のいじめ・非行防止優秀標語とポスターデザインの表彰などが行われ、コロナ禍の中でも活動の火を絶やすことなく継続していく大切さを再認識する大会となりました。

青少年育成功労者

菖蒲 淳さん(寒河江市) 鈴木 政明さん(中山町) 松田 正さん(河北町)
小野 広美さん(新庄市) 小沼 幸男さん(金山町) 松田 尚貴さん(金山町)
小坂 英次さん(米沢市) 大津 孝幸さん(南陽市) 今野 正さん(長井市)
佐藤 清志さん(酒田市) 菅原 和女さん(遊佐町) 成田 栄美さん(遊佐町)
高橋 茂宣さん(遊佐町)

青少年健全育成県民運動協力団体

米沢市更生保護女性会北部地区(米沢市) 西部地区子供見守り隊推進委員会(米沢市)

優秀標語作者

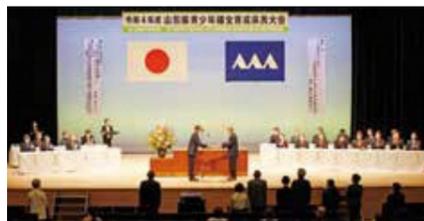
三浦 奈結さん(尾花沢市) 矢口 莉愛さん(戸沢村) 安達 小雪さん(高畠町)
菅原 伶太さん(鶴岡市)

ポスターデザイン最優秀作品作者

小形 葉月さん(山形県立長井工業高等学校)



佐藤俊一県民会議会長の挨拶



表彰式の様子

令和4年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の取組み

令和4年度 いじめ防止優秀標語

「いじめ防止」標語を募集したところ、県内の小・中学校330校から計54,436件の応募があり、今年度は下記4作品が見事優秀賞に輝きました。作者は10月30日に長井市民文化会館で開催された青少年健全育成県民大会において表彰を受けました。

村山 いじめて「見る」「する」「される」どれもいや

尾花沢市立宮沢小学校4年 三浦 奈結さん 作

最上 ありがとう あふれる地域に いじめなし

戸沢村立戸沢学園8年 矢口 莉愛さん 作

置賜 「助けて」を 話す勇気と 聞く心

高畠町立高畠中学校2年 安達 小雪さん 作

庄内 消しゴムで 消せない一言 SNS

鶴岡市立朝陽第三小学校6年 菅原 伶太さん 作

令和4年度 いじめ・非行をなくそうポスター

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の周知・啓発を図り、また「いじめ防止」優秀標語を広く県民の皆様にご覧いただくために、県内の高校生を対象にポスターのデザインを募集し、作成しました。



山形県立
長井工業高等学校1年
おがた はづき
小形 葉月さん 作

いじめられていたり、仲間はずれにされていたりする人を見捨てずに、手を取り助けてほしいという願いを込め、このデザインにしました。

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動10年目企画事業 「児童・生徒と地域の大人の全県対話会」

当県民運動は、いじめ・非行の未然防止と早期発見、早期解決につながる環境づくりに社会全体で取り組むため、平成25年度から展開し、10年目となります。

運動開始10年目の節目として、平成28年度から毎年県内4地区で開催している「児童・生徒と地域の大人の対話会」の参加者から代表者を募り、「全県版児童・生徒と地域の大人の対話会」をオンラインで開催します。

これまでの活動や各地区の取組み状況を共有し、今後

の更なる運動推進を目指します。当日は一般視聴も可能(事前申込み制)ですので、是非ご覧ください。

- 【開催日時】
令和5年1月28日(土)午後1時~3時頃まで
- 【視聴申込方法・期限】
令和5年1月20日(金)まで、
右のQRコードからお申込みください。



スマホデビュー その前に! 保護者がおさえておきたい 4つのポイント

ポイント① 犯罪・違反行為となる使い方をさせない!
著作権侵害や誹謗中傷、脅迫、犯行予告等は刑事・民事的な責任を負う危険があります。

ポイント② プライバシーを守って生命を守る!
個人情報や位置情報が分かる安易な書き込みで、犯罪被害に遭う恐れがあります。

ポイント③ ネットに潜むリスクを親子で知る!
青少年のネット利用には、「発信」・「受信」・「コミュニケーション」・「売買・契約」に関するリスクが潜んでいます。使い方を親子で一緒に考えましょう。

ポイント④ ペアレンタルコントロールからセルフコントロールへ!
保護者が寄り添い、「自分の力でコントロールできる」まで管理し、見守りましょう。

※詳しくは、内閣府リーフレットをご覧ください。



若者向けの 元気応援窓口

若者向けの元気応援窓口

若者支援コンシェルジュ

若者(40歳位までの)地域での活動を応援、サポートしています。

◆**なんでも相談窓口**
地域活動する上での知りたいこと、困りごとなど、相談を受け付けています。

◆**若者サポーター**
相談内容に応じて、地域活動の実践者が、若者のチャレンジをサポートします。

◆**テーマサロン**
「仲間づくり」や「知識を深める」ことを目的に、各回テーマを設定し若者同士の交流を行っています。

◆**おこしいネット**
若者の皆さんから寄せられた情報や、地域活動する上で役立つ情報を掲載しています。

*若者支援コンシェルジュ事務局
受付:月~金 9:00~19:00(祝祭日除く)
電話:080-4732-3804

SNSメッセージからもお問合せいただけます!

